

● フラッグ・シグナルの運用について

1. 従来の信号同様、フラッグ(旗表示)の補助表示として使用されます。

「黄旗 1 本」「黄旗 2 本の振動表示」「緑旗」「赤旗」「赤ストライプ付黄旗」、「レッドクロス(赤い斜め十字の入った白旗)」が主に使用されます。

2. RIDE THROUGH ボードは従来通りメインフラッグ台で提示すると同時に、シグナルブリッジに設置されたインフォメーションパネルにおいてもゼッケン番号とともに表示されます。オレンジボール旗、黒旗はメインフラッグ台、およびインフォメーションパネル、各ポストに設置されているライトパネルにてゼッケン番号とともに表示されます。

● 予選

1. 公式予選走行前のライダー確認について

①公式予選の走行ライダーは公式予選開始 10 分前までに各自のピットで待機し、補給を監査する蛍光ベストを着けているオフィシャルによるライダー確認を受けてください。競技役員の確認がなければ、予選に出走できません。

②予選／決勝とも腕章は必ず右腕上部に着用してください。また、ヘルメットも車検を合格(合格ステッカー貼付)したものを使用してください。また、車検時に貼付されたヘルメット車検合格ステッカーには必ずゼッケンを油性ペン等でご記入ください。

※多重クラッシュ時などに素早くライダー判別を可能にするためです。

各ライダーの腕章およびヘルメット車検合格ステッカーの色は以下の通りです。

第 1 ライダー：赤色 第 2 ライダー：黄色 第 3 ライダー：緑色 第 4 ライダー：白色 第 5 ライダー：桃色

2. 公式予選開始前のピットレーン待機について

公式予選時、前のクラスがチェッカーフラッグを提示されるまでは、ピット走行レーンへの移動はできません。各自のピット前で待機してください。

3. スロー走行時の対応

①スロー走行を余儀なくされた場合は必ずコース右端を走行してください。

②初心者並びに走行に自信の無い方に、ビブゼッケンをお貸し致します。希望の方は、参加受付時にお申し出ください。なお、ビブゼッケンを着用して走行されている方を追い抜く際は、細心の注意と配慮をお願い致します。

4. 転倒時の対応について

①転倒した場合、2 次災害を防ぐために、転倒場所から速やかに状況を判断し退避するようにしてください。また、ヘルメットは安全な場所へ避難するまでは、脱がないようにしてください。

②体に異常がなかった場合は、競技役員の車両撤去等を手伝ってください。

③大きな怪我でなくても無理せずメディカルセンターで受診してください。

その際、転倒時着用していたヘルメットを必ず持参してください。

④コース復帰する際は、後続車両に危険が及ばないように注意の上コースに復帰するようにしてください。また、アンダーカウル内の石などをコース上に撒かないように注意してください。

⑤転倒・マシントラブルにより車両が停止した場合、予選中はレッカー車による救済措置は行いません。ただし、オフィシャルによるグラベルからの脱出、押し掛けの援助は行います。

5. 予選タイムの採択

- ①各ライダーは、必ず指定された走行枠に出走してください。
- ②第1ライダー、第2ライダーのタイム測定を行い、記録されたそれぞれのライダーのベストラップタイムを合算したタイムにより予選順位が決まります。

6. サインエリア／ピットレーンへの立ち入り

- ①サインエリアへ立ち入る場合は、サインマン腕章を必ず腕に着用してください。
- ②登録ピットクルー、ライダーのみサインエリア及びピットレーンへ立ち入ることができます。〔ヘルパーの方はサインエリア及びピットレーンへ立ち入ることはできません〕
- ③ピットボックス内、ピットレーン、サインエリアは禁煙です。
(パドック内も喫煙可能場所以外は禁煙です。)
- ④サインエリアでは傘の使用は禁止です。
- ⑤サインエリア、ピットレーンでは足全体が覆われている靴（穴などが開いていないもの）以外は使用禁止とします。

7. 公式予選時のピット作業について

- ①予選中にピットボックス内へ車両を入れた時点で予選走行を終了したものとみなします。
- ②予選中の燃料補給は可能です。ただし、以下の事項を必ず遵守してください。
 - 燃料補給作業は作業エリアで行うこと
 - 給油補給作業中はピット要員1名が必ず消火器を持って待機していなければならない。
 - 消防法に合致した携行缶で燃料補給を行うこと。ポリタンク、オイルジョッキ等での燃料補給は禁止する。
 - 燃料補給に携わるピットクルー全員は難燃素材（綿100%の素材は使用可）の長袖・長ズボンを着用すること。また、顔面保護のため、ゴーグルあるいはシールド付きヘルメットの着用を強く推奨する。
 - 給油補給作業はスタンドで完全に支持され、エンジンを停止し、ライダーは降車された状況下で行ってください。

以上

決勝レースに向けての
ブリーフィング資料は別となりますので
ご注意ください。